

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 40代	急性骨髄性白血病 における骨髄移植 の前治療 (肝機能異常,播種 性血管内凝固,食 道炎,胃炎,発熱性 好中球減少症)	41mg 5日間	肺出血 投与開始日 投与5日目 (投与中止日) 終了2日後 終了3日後 終了4日後 終了11日後 終了17日後	骨髄移植の前治療のため,本剤41mgの投与開始。 本剤の投与終了。 同種臍帯血移植(HLA二座不適合,非血縁)を実施。 敗血症,消化管出血を伴う表層性食道炎,胃炎が発現。消化管出血を伴う表層性食道炎,胃 炎に対し,上部消化管内視鏡によるトロンピン散布を実施。絶食,輸液を実施。 びまん性肺胞出血が発現。メチルプレドニゾロンを使用したパルス療法及び気管内挿管を伴う 人工呼吸器による呼吸管理により処置。 消化管出血を伴う表層性食道炎,胃炎は軽快。 敗血症,びまん性肺胞出血は軽快。びまん性肺胞出血は抜管可能な状態にまで改善。
併用薬:メルファラン,チオテパ,タクロリムス水和物,ポリコナゾール,ピアペネム,人赤血球濃厚液,人血小板濃厚液					